

	質問	回答
1	調べ学習について、「どんなテーマでどんな質問があり、どう資料につなげたか」という資料を毎回の積み重ねとして図書館内だけでなく、学校司書、教員にも提供していますか。学校からの情報はもらえていますか。毎年「ゼロスタート」でなく、共有しながら子ども達への情報提供も広く、深くできるとよいと思います。	調べ学習に関する団体貸出は、教員から依頼された学校司書より、テーマや関連資料の団体貸出リクエストが図書館に届くので共有しています。夏の調べ学習は、児童・生徒それぞれ個人がテーマを設定するので、毎年様々です。
2	お出かけおはなし会の実施は「乳児向け」なのか。参加人数は大人子ども的人数だけでなく、親子何組という方が状況がわかりやすいのでは。どんな内容で行っているのですか。	<p>■ 0～2歳児向け：保育園、ピッコロ広場、のどか広場（基本的に親子で参加です） 内容：絵本の読み聞かせ、大型絵本の読み聞かせ、紙芝居、手あそび</p> <p>■ 3歳児以上向け：児童館（学童の子が参加したり子ども単体での参加が多い） 内容：絵本の読み聞かせ、大型絵本の読み聞かせ、紙芝居、手あそび、工作</p>
3	「マタニティブックスタート」オンラインの実施は意味があると思う。一方で、絵本に頼るのでなく、子どもとふれあうこと。その時、ことばをかけること、あやしことばなど、本当に赤ちゃんと遊んだことがない人に役立つ「知恵」を勧めてほしい。絵本と一緒に読めるようになるのにはとても個人差があると思う。親が諦めてデジタル任せに走らないように、楽しめる技を伝承してほしい。	図書館でのブックスタートでは、絵本を介して親子で幸せな時間を過ごしてほしい、という考え（理念、想い）をもとに実施しています。3から4か月児健康診査会場にて読み聞かせの実演等をとおして取り組んでいます。
4	スギヤマカナヨさんの講演会、とても楽しかったですが、宣伝は足りていましたか？数日前にお誘いいただくまで、全然知らなかったです。もったいない。	市報、図書館HP、各図書館内ポスター掲示・チラシの配布、子育て広場へのポスター掲示・チラシ配布、西東京市SNSでの投稿にて告知してきました。今後も周知につながるようPRに取り組みます。
5	小学生向けおでかけおはなし会、学童クラブにも行けるとよいと思う。小学生が本当に普段の放課後、図書館に来ることが少ない。大学生のボランティアは小学校の教員養成課程の学生や司書課程の学生を募るべきでは。幼児教育の勉強をしている人は保育園や子育て広場に行ってもらうのがよいと思う。大学生が来るだけで小学生は喜ぶと思うが、折角の「現場」経験を将来につなげてもらいたい。	学童クラブへ直接は行っていませんが、学童クラブの子どもたちは児童館で「おでかけおはなし会」を実施する際や、学校と併設している場合は「放課後子供教室」に参加してくれています。大学生のボランティアについては、武蔵野大学の学生さんは「一日図書館員」、「バックヤードツアー」、「おでかけおはなし会」、「放課後子供教室」で日程調整が可能な範囲で参加してくれています。募集に応じてくれた大学の先生が参加を取りまとめてくれ、各ゼミ生に声をかけてくれています。（毎年度11月前後に市の企画政策課を通じて、武蔵野大学に相互協力依頼をしています。）
6	・YA向けパスファインダーはHPの入口で見つけにくい。場所とか色とかフォントとか、目を惹く仕掛けがあるのでは。	令和8年3月から新しいホームページのデザインとなる予定で、各コンテンツがカラフルで親しみやすいイラストともに表示されるようになります。また、表示が固定されるヘッダーの情報量が減るため、YAのコンテンツそのものが目立つようになると思います。ページ見出し（YoungAdult 10代のためのページ）、YAの説明とのバランスも調整し、各コンテンツが目立つようにしているので、従来よりアクセスがしやすくなる予定です。

	質問	回答
7	「ヤイペ」HP上で見るとなんだかあまりぱっとしないな…。色紙じゃないからかな？	新しいホームページ上では、CATCHもまた、パスファインダー同様、アクセスしやすくなり、CATCHに特化したページの階層をあげたことで、より目につきやすくなると考えています。 CATCHそのものは、ホームページに掲載する際、白黒データにして印刷可能にしていますが、より見やすくなるようデザインを工夫したり、ホームページ上でも視覚的なアピールができるよう、検討したいと思います。
8	参加している人たちが楽しんで作っていることは感じるが、紹介されている本も微妙だなあ…と思います。	紹介する本のセレクトは、あえてYA世代の編集委員にまかせています。内容は事前に職員も確認しますが、YAの自主性を尊重した誌面づくりを心がけています。
9	投稿フォームで投稿すると、手書き部分がもっと減る？ 現在のYAを惹きつけるのは「ヤイペ」なのでしょうか	ホームページからの投稿が現在はなく、予想は難しいですが、今後、デジタルのテキストやイラストが多くなるかもしれません。 しかし、手書きのイラストや文章もスキャンしデジタル化すれば、ホームページへの投稿は可能です。投稿フォームは、来館による紙での投稿が近年ほとんどなくなってしまったことへの対応策の一つです。 投稿の窓口を増やし、また、非来館者にも、ホームページからヤイペの存在を知ってもらいたいと考えています。 本やイラストが好きな子が、CATCHを通して図書館を知ってもらう、図書館を利用してもらうことを目標としています。
10	以前、中学の学校司書さんたちが準備して指導課も一緒に行っていた中学生の読書フェスティバル(読書会)を再開できませんか。図書館も一緒に関わって、中学生の生の声を聞ける場を設けるのがとても大事なのでは。	ご意見のとおり、中学生の読書フェスティバルは、図書館にとっても、現役の生徒さんの状況や読書傾向等を知ることができる大変有意義なイベントでした。再開については各校の学校長や教育指導課が主体となり授業計画などから決められることなので、図書館の意向により再開は難しいところかと思えます。仮に再開することがあり、図書館が参加・協力できる内容であれば、ぜひ参加したいと考えています。
11	資料5点のうち、3点は、実施する予定の計画を実施したかどうかということで評価され、2点は、数値目標を入れておられますが、どうしてその数字なのか、がよくわかりませんでした。	基本的には過去の実績に合わせて数値を検討して目標としています
12	基本方針4(2)③ 取組内容オ >具体的な取組にある『「CATCH」本誌を「西東京市子ども電子図書館」に独自資料として登録し、閲覧可能とする』は実施できたのでしょうか	令和6年度中には未実施でした。→参考指標の設定から外していたのですが、評価をBに変更したいと考えております

	質問	回答
13	<p>基本方針1(1)①&gt;具体的取組内容の1つとして学校への貸出が挙げられていますが、どのぐらいの貸出数があったのか、実績値を知りたいところです(前年度比ができる数字があるとなおよいとは思いますが、それは難しいかと思しますので今年度の数字だけでも会議の場でお示しいただけるとありがたい存じます)</p>	<p>令和6年度 団体配送(年50回)                      6/20 6セット                      レファレンス資料まちなか先生用                      芝久保小学校へ団体配送                      6/25 1セット、学校図書館の資料を用いて、まちなか先生実施                      6/27 2セット                      調べる学習コンクール関連授業へ貸出                      田無第三中学校へ団体配送                      ※学校での授業実施日は不明</p>
14	<p>基本方針1(1)①&gt;・取組結果と評価3 令和7年3月に学校司書を対象に→この学校司書とは、市内公立小・中学校司書18名のことですか?それとももう少し範囲が広いのでしょうか?</p>	<p>(令和6年度3月)市内公立小・中学校司書18名のことです。</p>
15	<p>基本方針4(2)①                      &gt;評価Bとなっていますが、具体的な取組で挙げられている項目と活動内容を比較してもB評価にするほどのことでもないような気もしますが、何をもってB評価としたのでしょうか。参考指標と照らし合わせた結果でしょうか。また、来年度に向けてB評価を向上させる取組は何か考えられていますか</p>	<p>事業評価に係る参考指標に合わせた結果です。指標のみ評価判断となるためB評価としました。今年度も引き続き絵本と子育て事業、講演会、ファミリー応援事業講演会、わらべうた講座を予定しています。                      (把握できない数字としては、子を登録する際、ピンクの登録用紙を使用しない場合、若しくは親だけが登録する際、ピンクの登録用紙を使用しない場合もあると思われます。)</p>
16	<p>ところで絵本配布数に対する0歳児登録数の参考指標はほかの自治体図書館でも使用されている指標でしょうか?</p>	<p>不明ですが、西東京市独自のものではないかと思えます。</p>